

平成29年度 第5回 木曾川水系流域委員会 【木曾三川下流部におけるかわまちづくりについて】

平成29年12月27日

国土交通省 中部地方整備局

木曾川上流河川事務所、木曾川下流河川事務所

かわまちづくり支援制度とは

- 「かわまちづくり」とは、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取り組みをいう。
- 「かわまちづくり支援制度」とは、河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すもの。

かわまちづくり支援制度の概要

ソフト対策

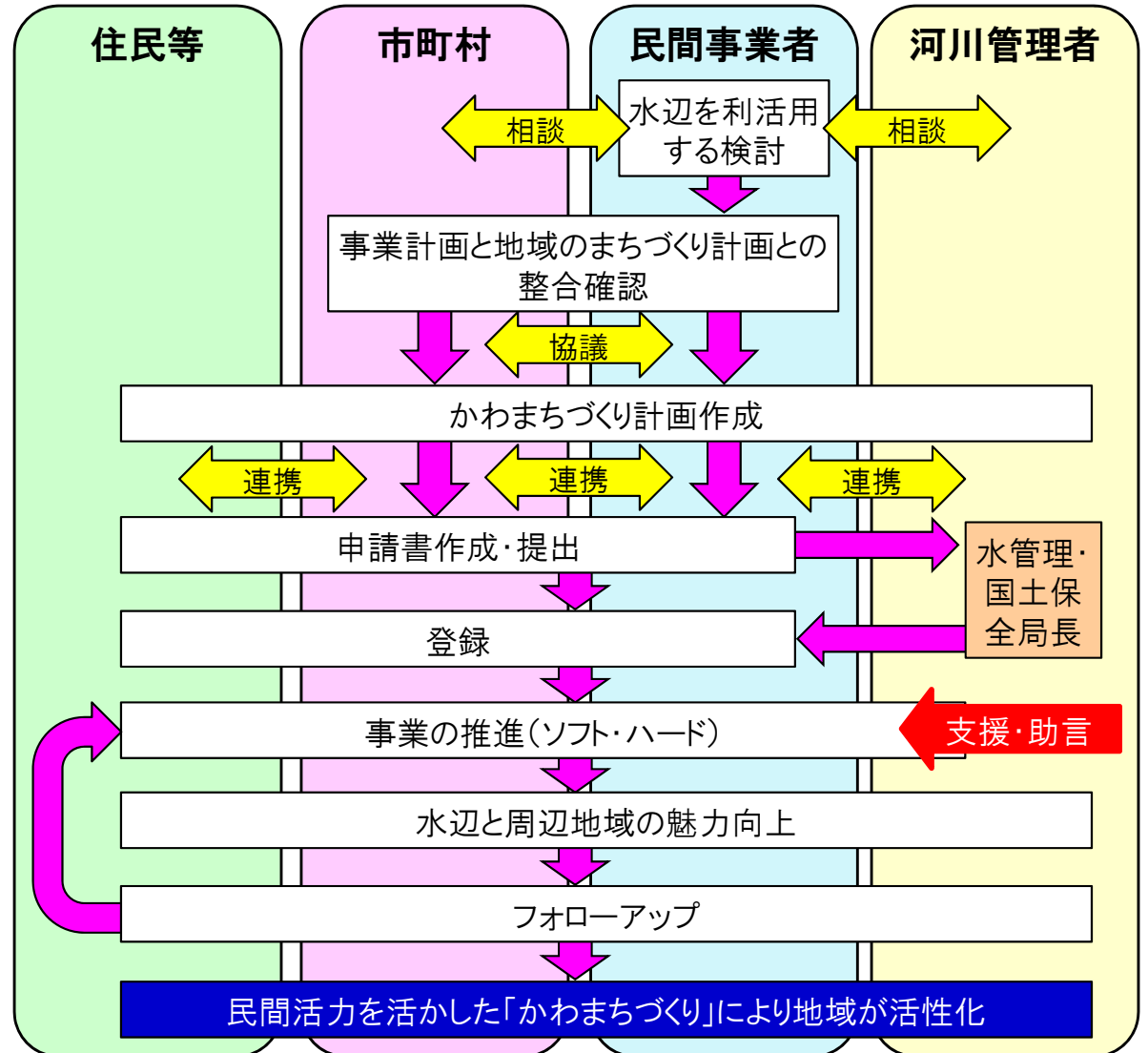
- 民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度等を活用
- 河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援

ハード支援

- まちづくりと一体となった水辺整備を積極的に支援
- 基盤整備、親水護岸、緩傾斜堤防など



管理用通路をフットパスとして活用(最上川)



愛西市かわまちづくり計画の登録に向けて

- 愛西市及び地域団体等は、かわまちづくりを進めるため、「愛西市木曾三川ミズベリング協議会」を設立。
- 地域と一体となってまちと水辺が融合した良好な空間を形成し、観光振興や地域活性化に貢献していくため、必要となるソフト施策及びハード対策について検討を進め、平成29年11月にかわまちづくり計画をとりまとめた。

愛西市木曾三川ミズベリング協議会

委員区分	所属	役職
地域関係団体	愛西市観光協会	会長
	愛西市商工会	会長
	あいさいボランティアガイドの会	会長
	立田ふれあいの里運営連絡協議会	会長
	福原新田町	総代
行政団体	愛西市	副市長
	愛西市	産業建設部長
	愛西市	産業振興課長
	国土交通省木曾川下流河川事務所	副所長
アドバイザー	四日市大学	学長



第1回協議会の開催状況



現地視察状況

回	開催日	内容
準備会	H29.8.18	・概要説明 ・現地視察
第1回	H29.9.27	・かわまちづくり支援制度について ・木曾三川を活用したより魅力あるまちづくりに向けて ・今後の進め方について
第2回	H29.10.31	・かわまちづくり計画の検討 (かわまちづくりの方針・整備イメージ)
第3回	H29.11.30	・かわまちづくり計画のとりまとめ

愛西市かわまちづくり計画の基本方針(案)

■愛西市におけるかわまちづくり計画のコンセプト「木曾三川の歴史と自然環境を学ぶ拠点空間づくり」を踏まえた基本方針(案)は以下のとおり。

基本方針(案)

- 既存の地域資源をつなげ、エコツアー、インフラツアーとしての観光ルートを設定することにより舟運の活性化を図り、さらなる観光振興につなげる。
- ケレップ水制群間に川らしい環境を創出することにより、地域の魅力を向上させる。
- 近隣の港（四日市港など）への外国客船の寄港等に伴うインバウンド対応としてのソフト施策の充実を図ることで、地域活性化に貢献する。
- 各拠点間での散策・サイクリングを通じて、健康増進に貢献する。

既存の地域資源を繋げた観光ルートの設定

- 船頭平閘門、ケレップ水制群、千本松原、木曾三川公園等を巡る観光ルートの設定



川らしい環境の創出

- ケレップ水制群間の湿地再生



散策等を通じた健康増進

- 各拠点間の散策・サイクリング

インバウンド対応

- インバウンド対応としてのソフト施策の充実

外国客船誘致を進める四日市港



愛西市かわまちづくり計画におけるソフト施策(案)①

【ソフト施策(案)】

- (1)木曽川観光船の運航ルート充実と効率性の向上
- (2)エコツアー・インフラツアーのパッケージ化
- (3)企業(鉄道会社・旅行会社)と連携した体験プログラムのメニュー化
- (4)周辺の観光施設・地域資源の交通ネットワーク構築(レンタサイクルの新設・サイクルトレインの利用促進)
- (5)交流イベントの開催
- (6)船舶操縦や観光ガイドの人材確保・育成
- (7)インバウンド対応

ソフト施策(案)

- (1)木曽川観光船の運航ルート充実と効率性の向上
- (2)エコツアー・インフラツアーのパッケージ化

- 観光船のルート充実、効率性の向上
- 点在する地域資源の関連づけし、価値を向上

土木遺産探索コース

(1時間程度：木曽川船着場⇔船頭平閘門⇔長良川船着場)



自然環境散策コース
(1.5時間程度：葛木港→ケレップ水制群(散策)→葛木港)

双方のコースのパッケージ化も検討

愛西市かわまちづくり計画におけるソフト施策(案)②

ソフト施策(案)

(3)企業と連携した体験プログラムのメニュー化

- 体験プログラムを充実し、鉄道会社や旅行会社と連携した情報発信、ツアーの展開

出典:Japan Highlights Travel※
ホームページ
(H27.11現在公開)

※JR東海が、東海道新幹線沿線の観光情報等を発信



(4)周辺の観光施設・地域資源の交通ネットワーク構築

- 周辺の観光施設・地域資源をつなぎ、周辺地域の魅力を満喫できる交通ネットワークを構築
(既存のサイクルトレインの活用やレンタサイクル拠点の増強)



出典:養老鉄道(株)ホームページ

(5)交流イベントの開催

- 桑名市、海津市等の近隣自治体や関係団体と連携した交流イベントの開催

桑名市観光協会による舟運観光



(6)船舶操縦や観光ガイドの人材確保・育成

- 観光船の操縦を行う人材、ネイチャーガイド、インフラガイド等の人材確保、育成



出典:環境省ホームページ

(7)インバウンド対応

- 外国人観光客の増加を図るための留学生を対象としたツアーの開催
(留学生から母国の方々への情報発信につなげる)



海津市における留学生を対象にしたツアー

愛西市かわまちづくり計画におけるハード対策(案)

【ハード対策(案)】

(1)ケレップ水制周辺整備(長良川右岸、木曽川右岸)

木曽川側、長良川側にそれぞれ船着場を整備することで、観光船の周遊性、利便性、コースの充実を図る。

(2)木曽三川公園周辺整備(ケレップ水制周辺、葛木港周辺)

水制間の陸地化・樹林化が進行しているケレップ水制群周辺の湿地を再生するとともに、アクセスしやすい環境整備を行う。

ハード対策(案)



【長良川右岸】
・船着場の新設
・周辺整備

【木曽川右岸】
・船着場の新設
・周辺整備

【ケレップ周辺】
・ワンド再生
・船着場整備
・園路整備
・周辺整備

自然環境散策コース

【葛木港周辺】
・周辺整備

土木遺産探索コース

